

2024年8月号

特集

【表紙関連】
100年後も続くだざいふ
まちづくり市民意識調査の声
..... 2~4

学生まちづくり課題解決プロジェクト
令和の都だざいふ子ども学生美術展
..... 5

支え合い、すすめよう地域福祉
..... 8~9

市からのお知らせ 10~13

連載 14~22

なんでも情報コーナー
..... 23~29

太宰府の文化財 30

私のだざいふ

太宰府キャンパスネットワーク会議
令和6年度 学生連絡会委員
福岡女子短期大学 音楽科2年

あらさき りこ
新崎 莉子さん



進学のため、2023年4月に地元の沖縄から太宰府に引っ越ししてきました。福岡空港からバスで太宰府に到着して、最初に見たのが満開に咲いた御笠川の桜並木です。地元沖縄の濃いピンク色の桜ではなく、淡いピンク色の桜で、花びらが風でひらひらと踊り綺麗で、こんな素敵な所にこれから住むんだなとドキドキしました。最初は慣れない気候や電車、一人暮らしで大変でしたが、次第に大学での友達もでき、人も温かく、自然がいっぱいな穏やかな街で、今では私にとって落ち着く場所となりました。また、太宰府は、西鉄電車やまほろば号など交通の面でも便利で分かりやすく、すぐに1人でも色々な場所へ行けるようになりました。現在も大学の空き時間や授業が終わった後には、友達と一緒に太宰府天満宮の参道へよく遊びに行っています。太宰府に来て1年くらい経ちましたが、太宰府に進学てきて良かったなと思っています。

まちのトピックス

市内学生の活躍 宝満山を登るヒキガエルを守る看板が設置されました

本市の市民遺産である「宝満山を登るヒキガエル」について登山客に知ってもらい、守るための看板が設置されました。

太宰府高校の生徒8人が、総合的探求の時間の授業の中で、宝満山ヒキガエルを守る会と協力して看板デザインを発案しました。そして、本市の東洋ステンレス研磨工業株式会社が、日本製鉄株式会社が提供する材料を使用して製作しました。

生徒たちと楠田市長は看板を見て、「宝満山のカエルの事を多くの人に知つてもら、守っていきたい」と語り合いました。



設置した看板(左)と記念撮影する生徒たち

人権のまちづくり 人権擁護委員が福岡法務局長表彰を受けました

本市の人権擁護委員の松下俊彦さんと松尾明子さん、伊藤絹子さんが、5月24日(金)に開催された福岡県人権擁護委員連合会総会で福岡法務局長から表彰されました。3人は地域住民からの人権に関する相談を受け、さまざまな人権啓発活動を行っています。今回、多年にわたる人権擁護活動への尽力が認められ、表彰を受けました。



小学校で人権の花運動を行う松尾さんと伊藤さん

市民の活躍 シャイニーガールが全国大会1位、国際大会へ出場します

全国選手権大会USAオールスターナショナルズ2024で1位に輝き、国際大会へ出場することが決まったダンスチームのシャイニーガールに所属する、本市在住の畠美羽さん(武蔵台高校1年)、山下流和さん(学業院中2年)、友田光祐さん(水城西小6年)が、6月24日(月)に表敬訪問しました。

最初は緊張した表情の選手たちでしたが、将来の夢の話やダンスのテクニックを披露してくれました。楠田市長は「全国大会1位おめでとうございます。皆さんの将来的目標や夢が叶うことを願います。国際大会に向け頑張ってください」と激励の言葉をかけました。



国際大会への出場を報告する選手の皆さん(前列)

市政ニュース

人材育成・登用 7月人事異動を行いました

7月1日(月)に人事異動辞令交付式を行い、新たな担当部署として都市整備部都市計画課に「地域公共交通特命担当」を設置しました。

コロナ禍の影響による利用者の大幅な減少、燃料費をはじめとする物価高、自動車運転業務の規制、深刻な運転士不足など、年々厳しさを増す公共交通を取り巻く環境に専門的かつスピーディーに対応するためです。



辞令交付式の様子

人材育成・登用 国家公務員の新人研修を受け入れました

地方自治体の業務や、国と地方の関係に理解を深めることを目的とする「地方自治体実地体験」の研修地として本市が選ばれ、中央府省で新規採用された国家公務員4人が5月28日(火)~30日(木)の3日間、本市で研修を行いました。

研修期間中は、市の会議や災害訓練などのさまざまな業務を見学・体験して、国と地方の違いや市民目線で働くことの重要性を学んでいました。



災害訓練を見学する様子